

日本語と母語の比較

1. 到達目標

日本語と母語の発音や文法の違いから間違いやすい点を確認し、日頃からその矯正を意識することにより、日本人とかわらない日本語をしゃべることができるようになる。そのことにより、接客サービスの質を向上させたい。

2. 講義内容

別紙参照

3. レポート内容

別紙「研究レポート B」のまとめ参照

4. 授業効果検証

(1) 「研究レポート B」提出者数

2年生 12名

(2) 目標達成状況（「研究レポート B」を読んで担当講師が判断）

目標を達成できた 5名

不十分だが及第点 4名

できていない 3名

(3) 検証

①課題1（母語と日本語の発音の違い）について

韓国語・中国語（台湾語）ともによく間違えている発音例が示されており、内容は理解しているのに修正できない現状が浮かび上がってきた。

②課題2（文法事項など発音以外の違い）について

発音同様、日常よく留学生が間違えている項目が出てきた。特に韓国人留学生のアスペクトの違い、中国人留学生の助詞「の」の使い方は、意識すれば短期間で修正できる問題なので、日頃から常に指摘していきたい。

5. 今後の課題

(1) 発音だけでなく、イントネーションやアクセントも追求させる必要がある

(2) 今回2年生を対象としたが、このような指導は出来るだけ早い段階で行なう必要がある。1年次もしくは日本語学校との連携を視野に入れなければならない。

以上

「留学生就職準備講座」レッシンプラン

課題① : 日本語と母語の比較

指導目標 : 日本語をしゃべる上で障害となりやすい母語の影響を理解し、それを克服する

所要時間 : 180分

使用教材 : プリント課題

時間	指導項目・手順	指導重点	方法	内容
5分	導入 レポート作成目的の 説明	日本語会話上達の ポイントを探る	講義	日本語会話の上手な人と、それ ぞれの出身国特有の間違い方を する人では、評価が全く違う
	↓			
20分	課題①説明 & 記入	日本語と母語の発音 上の違い	プリント	日本語にはあって、母語には 存在しない(類似音しかない) 発音を書き出す
	↓			
15分	課題②説明 & 記入	日本語と母語の文法 上の違い	プリント	母語の文法の影響により日本語 を話す時に間違った使い方をし しまいやすい事項を書き出す
	↓			
5分	課題レポート要領 説明	提出期限厳守 次週も授業内作成	プリント	提出締切: 2月1日(火) 提出用紙: A4版レポート用紙 分量: 1ページ以上
	↓			
60分	課題レポート作成	オリジナリティ重視		出身国が同じ留学生は内容が 似通ってくるのは仕方がないが 具体的な事例は他の人とは 違う内容にすること
	↓			
25分	提出確認 講評	できるだけ多くの分 量を書くこと		クラス全体で内容を共有する
	↓			
5分	まとめ	今後の実践が重要		今回のレポートで指摘されたこ とは、頭で理解できていても意 味がない。実際の日本語会話 の中で克服していかなければ ならない。そのためには、教職 員が日ごろから留学生との会話 の中で、間違いをその都度指摘 していきます

研究レポート B（日本語と母語の比較）

1. 目的

就職活動において日本語能力試験 1 級（現在の N1）を取得していることはとても重要なことである。しかし就職面接や実際に働く時に、より重要になってくるのは話し言葉である。本校で 2 年間、日本人学生とともに学ぶ中で日本語聴解力は完璧に近くなるが、下記の「課題」に挙げられるような話し言葉における課題は山積している。そこで、それぞれの課題を見つけ出し、それを意識しながら日常生活で修正してゆくことを、このレポートの目的とする。このことはサービス業界を目指す者として、お客様に良い印象を与えるために必要不可欠である。

2. 課題

- ① 日本語と母語の発音上の違いを確認し、それぞれの国の留学生が共通して日本語本来の発音とは異なる発音をしやすい例を列挙する。
- ② 日本語と母語の文法構造を比較し、それぞれの国の留学生が共通して間違えやすい話し言葉における文法事項を列挙する。

3. 提出締切

2011年2月1日（火）

4. 作成計画

課 題 ①	
-------------	--

課題 ②	
---------	--